

令和5年度

学 校 要 覧



大阪府立吹田支援学校

目 次

1	教育方針及び学校経営の重点	2
2	沿 革 概 要	3
3	校 地・校 舎	4
	(1) 校 地	
	(2) 一階校舎	
	(3) 二階校舎	
	(4) 三階校舎	
	(5) 四階校舎	
4	設 置 課 程	9
5	職 員	9
6	児 童・生 徒	10
	(1) 児童・生徒数及び学級数	
	(2) 市町村別在籍状況	
7	卒業生の進路状況	10
8	通学バス運行略図	11

1. 教育方針及び学校経営の重点

学校教育目標

児童・生徒一人ひとりの発達、障がい特性に応じた教育の充実を図る

〔たのしく、ゆたかに、げんきよく〕

教育方針

一人ひとりの児童・生徒の障がいや発達の状況に応じた社会的自立に向けた教育的支援のために、次のようなテーマで特色ある学校づくりをめざす。

- ① 開かれた学校（地域への情報発信等）
- ② 豊かさのある学校（キャリア教育等）
- ③ しなやかさのある学校（地域連携等）
- ④ 個を大切にする学校（個別の教育支援計画等）
- ⑤ 未来を見つめる学校（学校評価等）

指導方針

児童・生徒を中心に教職員と保護者がともに手を取り合い、適正で柔軟な学習集団及び教職員集団を編成し、施設・設備を最大限に活用した教育を展開する。またよりよく「生きるための力」として、次の観点から、一人ひとりの発達段階に配慮しつつ、各学部ごとに重点を定めた指導を行う。

- ① 個別課題へのアプローチ
- ② 基礎的な力
- ③ 表現する力
- ④ 身体の力
- ⑤ 自分を見つめる力

小学部

- ・人との関わりを楽しむ
- ・さまざまな遊びの経験をする
- ・基本的な生活習慣を身につける

中学部

- ・集団参加できる楽しさを知る。
- ・自主的で意欲的に取り組む力をつける。
- ・より高い生活習慣を身につけ、さまざまな場面で応用する。

高等部

- ・働くことや毎日の生活に意欲を持つ。
- ・生活の質の向上をめざす態度を養う。
- ・たくましく生きる力を獲得する。

本年度の重点目標

教育活動の視点

「開かれた学校」

- ・個別の教育支援計画→作成・開示
- ・個別の指導計画→評価・充実・開示
- ・小中高一貫したキャリア教育の充実
- ・自立活動→個別のニーズへの対応
- ・教育相談の充実→支援研究部
- ・支援教育センター的機能→支援研究部
- ・居住地校交流・学校間交流→地域連携部
- ・保護者連携→PTA活動・懇談会・校内研修会
- ・学校開放→行事公開・公開授業・公開講座
- ・個人情報の保護と管理→情報活用部

研究活動の視点

「一人ひとりを大切にする教育」

- ・教材研究・専門性→公開研修会、センター研修、自主研修→支援・研究部、
- ・多様なニーズに応じた教育課程→高等部・職業自立コースの設置
- ・自閉症等障がい教育の専門性向上→校内研修、各種研修、事例報告会、授業公開→支援研究部
- ・健康安全教育→環境保健部、安全点検
- ・「みんなの給食」→給食調理連絡調整会議
- ・学校の危機管理→不審者対応マニュアル
- ・防災・防犯訓練の実施→防災対策部
- ・人権・ハラスメント→研修の充実・教員の意識向上

経営活動の視点

「指導基盤の充実」

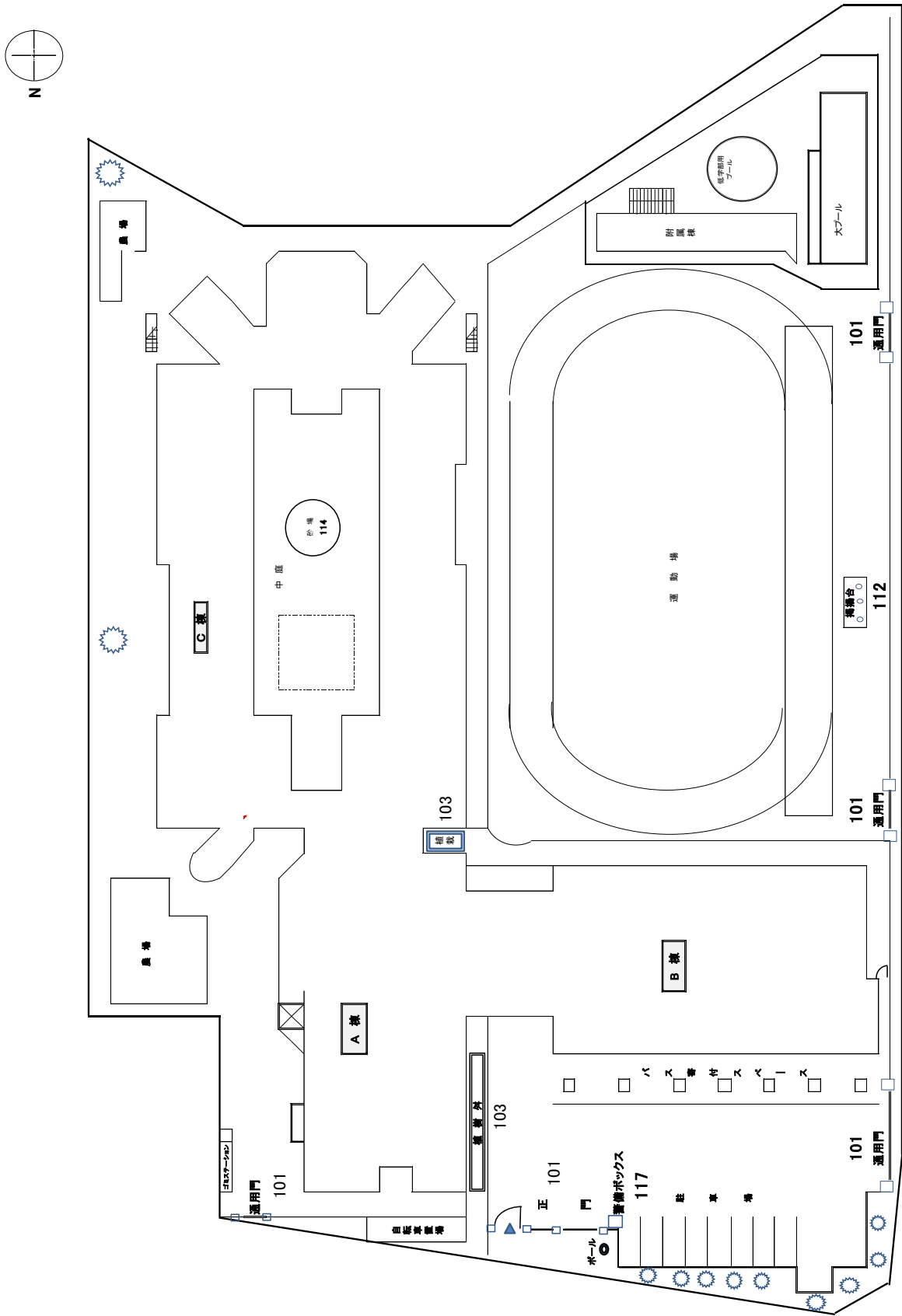
- ・学校経営組織と人材育成の充実
- ・一貫したキャリア教育の推進および進路指導の充実
- ・Web等による情報の発信
- ・学校運営協議会→開かれた学校づくりの発信
- ・学校業務の改善、組織的活動の推進→首席等ミドルリーダーの活用
- ・指導力の向上→支援研究部による年間研修計画及び授業見学の実施
- ・会議と研修の精査及び休憩時間の確保・健康で働きやすい職場づくり→労働安全衛生委員会

2. 沿革概要

平成 4 年 4 月 1 日	大阪府立高槻養護学校吹田分教室設置 (吹田市立津雲台小学校の校舎の一部を借用)
平成 6 年 2 月	大阪府平成 6 年度予算 「大阪府立吹田養護学校基本計画策定費」
平成 6 年 12 月	吹田市議会で「芳野町学校建設用地売却」決定
平成 7 年 3 月～	基本計画、基本設計、実施設計の策定
平成 8 年 11 月 2 日	建設着工に関する折衝開始（創立記念日）
平成 8 年 12 月	(仮称) 大阪府立吹田養護学校建設着工
平成 10 年 1 月 1 日	大阪府立高等学校条例（昭和 23 年大阪府条例第 98 号）の一部 改正（大阪府条例第 53 号）により大阪府立吹田養護学校設置 初代校長に坂口和宏が就任 大阪府立高槻養護学校吹田分教室校舎内に開校準備場所設置
平成 10 年 3 月	建設終了、引き渡し（20 日）、引っ越し（25 日）
平成 10 年 4 月 1 日	大阪府立吹田養護学校開校
平成 10 年 4 月 7 日	大阪府立吹田養護学校開校記念式典挙行
平成 10 年 4 月 8 日	163 名の児童・生徒を迎えて第 1 回入学式を挙行
平成 11 年 4 月	文部省交流教育地域推進事業の指定を受ける
平成 12 年 10 月 31 日	交流教育地域推進事業実践報告会実施
平成 19 年 11 月 10 日	大阪府立吹田養護学校創立十周年記念式典挙行
平成 20 年 4 月 1 日	大阪府立吹田支援学校に校名を変更
平成 29 年 11 月 2 日	創立二十周年記念式典挙行

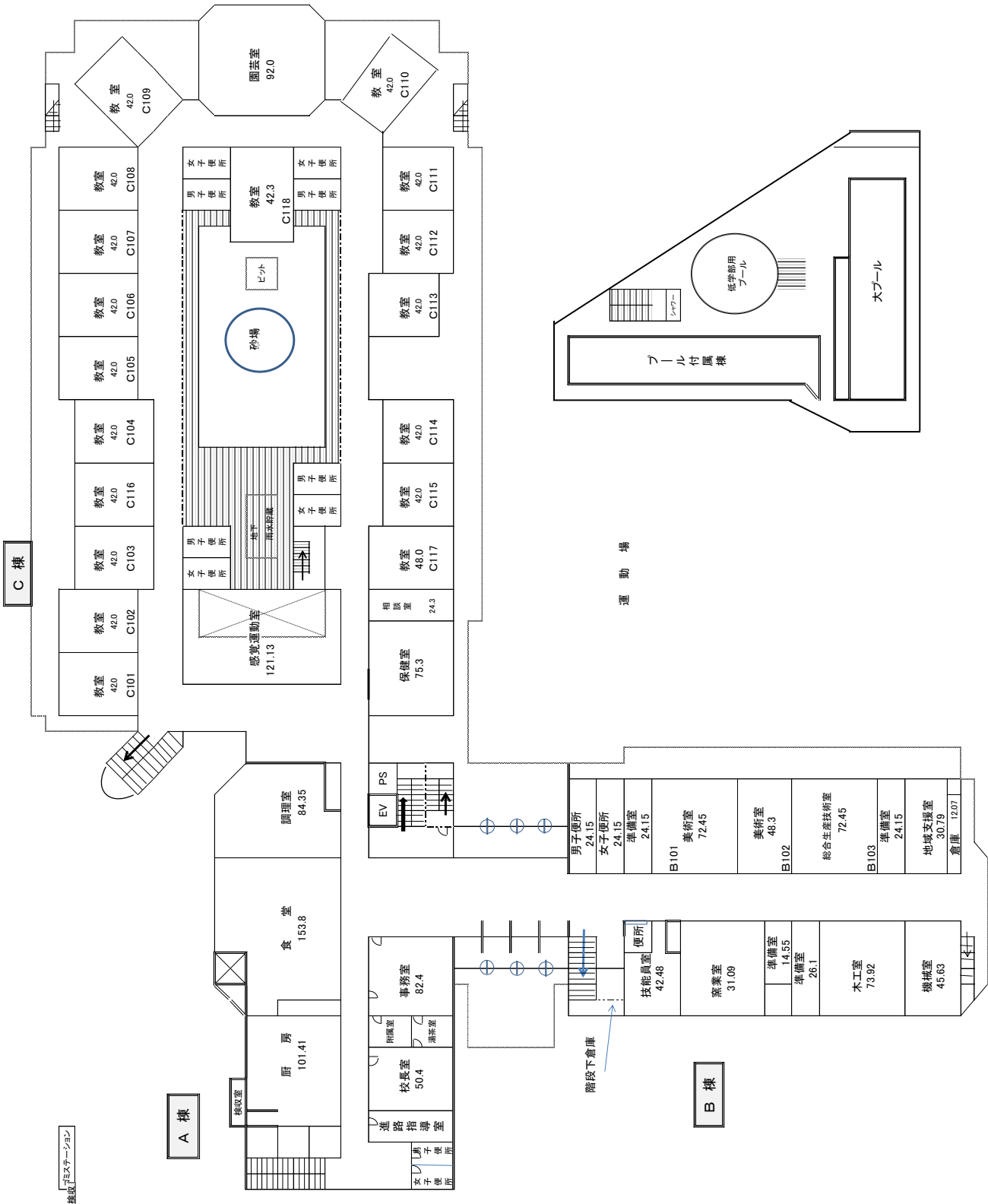
3. 校地・校舎

校舎配置図



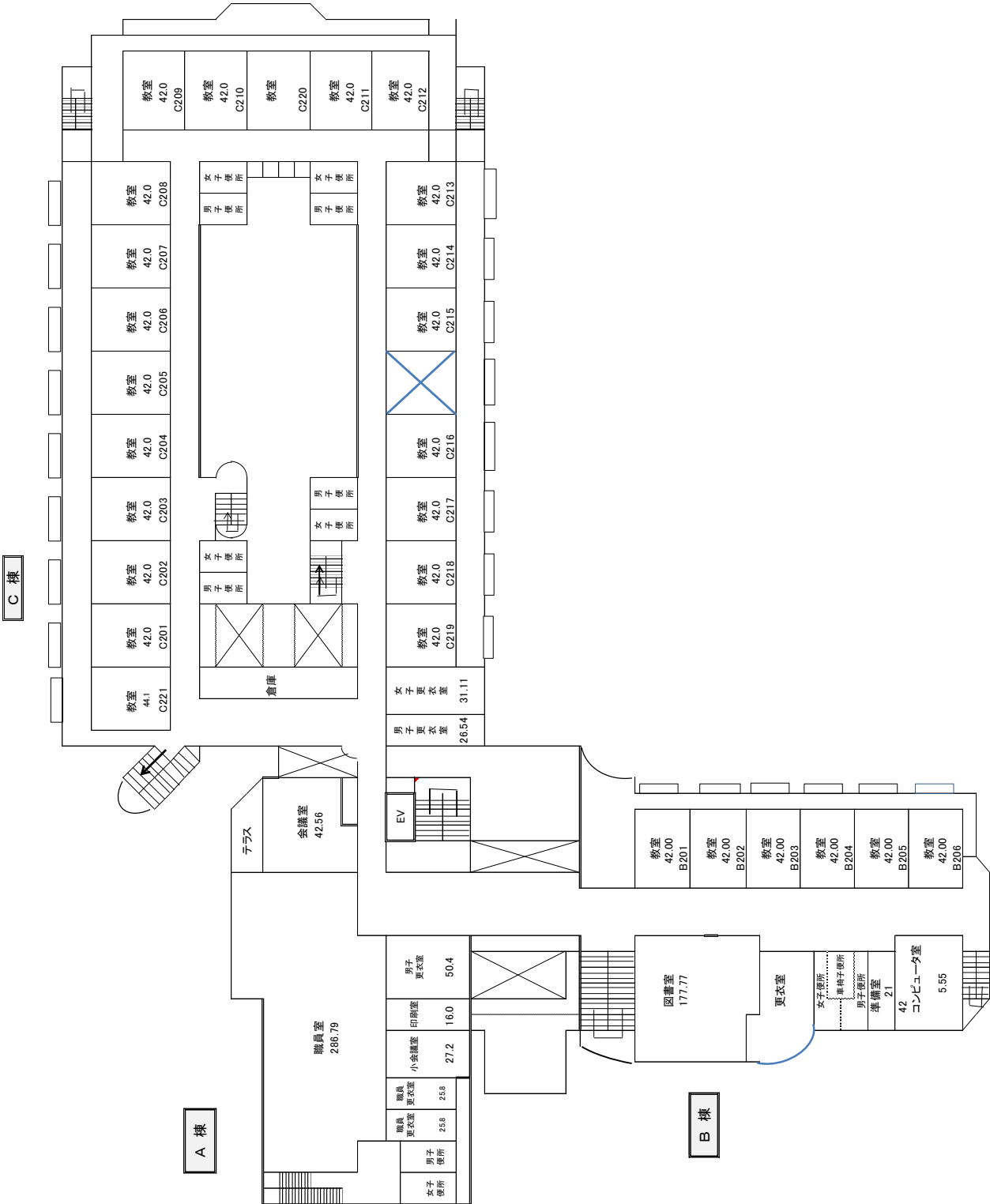
圖面平舍校

1階



校舎平面図

2 階



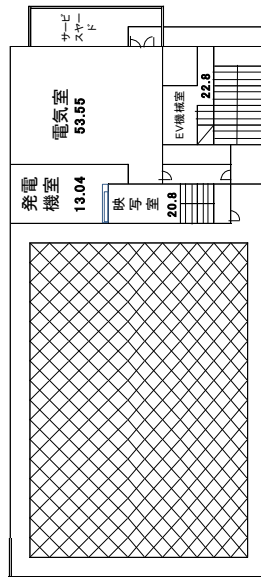
棟 C



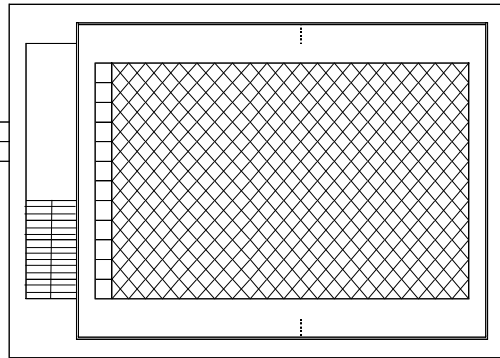
校舎平面図

4 階

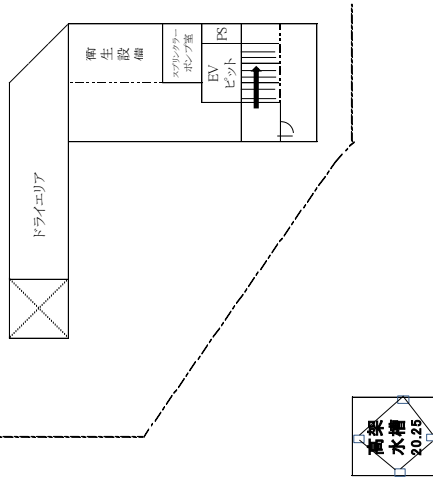
A 棟



B 棟



地下1階



4. 設 置 課 程

課 程 別	修業年限	対 象 児 童 生 徒
小 学 部	6 年	大阪府内在住の児童生徒で学校教育法施行令第 22 条の 3 に該当する障がいの状態に加え、教育的ニーズ、地域の状況、保護者や専門家の意見等を総合的に勘案して、判断、決定したもの。
中 学 部	3 年	
高 等 部 (生活課程)	3 年	

5. 職 員

(1) 教職員現員表

令和 5 年 5 月 1 日現在

職 名	校 長	教 頭	首 席	指 導 教 諭	教 諭	常 勤 講 師	実 習 教 員	総 括 実 習 教 員	栄 養 教 諭	養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	栄 養 士	小 計
員 数	1	2	3	0	99	20	2	0	0	2	2	1	132

職 名	事 務 長	主 査	副 主 査	主 事	主 任 専 門 員	小 計
員 数	1	1	1	1	0	4

合 計
136

職 名	学 校 医 等	合 計
員 数	7	7

6. 児童・生徒

(1) 児童・生徒数及び学級数

令和5年5月1日現在

学部	学年	学級数			児童・生徒数					
		一般	重複	小計	一般	重複	訪問	男	女	小計
小学部	第1学年	3			15	1	0	11	5	16
	第2学年	3			14	3	0	15	2	17
	第3学年	3			16	4	0	16	4	20
	第4学年	3			17	5	0	16	6	22
	第5学年	2			9	5	0	12	2	14
	第6学年	3			13	4	0	13	4	17
	小計	17	10	27	84	22	0	83	23	106
中学部	第1学年	3			18	4	0	15	7	22
	第2学年	4			19	3	0	15	7	22
	第3学年	4			21	4	0	16	9	25
	小計	11	5	16	58	11	0	46	23	69
高等部	第1学年	4			29	8	0	25	12	37
	第2学年	4			28	6	0	22	12	34
	第3学年	3			19	3	0	10	12	22
	小計	11	6	17	76	17	0	57	36	93
総計		39	21	60	218	50	0	186	82	268

(2) 市町村別在籍状況

居住地	小学部							中学部				高等部				合計
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
吹田市	16	17	20	22	14	17	106	22	22	25	69	37	34	22	93	268

7. 卒業生の進路状況（令和4年度）

男子 23 名 女子 9 名 計 32 名

進学		就職		職業能力 開発施設等		就労移行支援		就労継続B型		自立訓練		生活介護		その他	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0	0	5	1	0	0	0	0	1	0	10	5	5	3	2	0

令和5年5月1日現在

令和5年度 通学バス運行略図

A	モモ	桃山台	G	メロン	内環状線
B	カエル	亥子谷	H	青い鳥	豊 津
C	バナナ	佐井寺	I	クリ	吹 田
D	ミカン	千里山	J	ぶどう	千里山東
E	トマト	産業道路	K	コアラ	片山
F	ゾウ	岸 部			

※白抜きの○は下校便のみ

※中型バス使用(C・D・Jコースはマイクロバス)

